

研究開発プラットフォーム 活動報告書・レビューシート

令和5年度活動報告書(総括表)			
目的	農林水産・食品産業の成長産業化を図るため、農林水産・食品分野と異分野との新たな連携により、革新的技術やアイデアを集積させ、新たな価値やサービスを生み出すオープンイノベーションの場を設け、農林水産・食品分野の研究開発及び商品化・事業化を加速する。		
活動指標 及び 活動実績	①会員数	4,973(令和6年12月27日現在) (令和5年度末時点4,854)	
	②研究開発プラットフォーム数	175(令和6年12月27日現在) (令和5年度末180)	
	③研究開発プラットフォームの活動状況	表1参照	
	④研究開発プラットフォームに所属する会員数	のべ3142(表1参照) (令和5年度のべ3,652)	
	⑤研究開発プラットフォームへの異分野・異業種の参画状況	52%(表2参照) (令和5年度48%)	
	⑥上市した商品・事業を持つ研究開発プラットフォームの数	81(表3参照) (令和5年度74)	
	⑦研究開発プラットフォームのプロデューサーの所属先 (令和6年12月27日時点)	1)大学・高等専門学校	78
		2)国研	30
3)公設試験場		13	
4)民間企業		66	
5)その他 (一般社団法人、NPO等)		28	
※上記③～⑤、⑦については、「「知」の集積と活用」の場 産学官連携協議会 研究開発プラットフォーム 活動報告書(令和6年度)」(120件提出)に基づき記載。⑥については、令和4～6年度の活動報告書に基づき記載。			

「知」の集積と活用の場 研究開発プラットフォーム(PF)に対するレビュー				評価委員会の評価
項目	事務局の自己評価	評価に関する説明		
プロデューサー人材が適切に能力を発揮しているか。	B	・企業や市場のニーズにマッチしたシーズを有するPF、企業を中心としたPFの中には、製品を上市したところも徐々に増えている。また、PFのプロデューサーが大学や国研等の研究者であっても、PF内の企業や自治体等とコンソーシアムあるいは連携体制を組んでいるケースでは社会実装に向けた動きが活発であるが、これらの取組はまだごく一部のPFに限られている。 ・優れた研究成果を有していても、事業化をプロデュースできる人材が少なく、研究が研究で終わってしまっているケースが多い。		
研究開発を支援する知識・ノウハウを集約しているか。	A	・今年度は53件(昨年度57件)の研究コンソーシアムが立ち上がり、研究開発は活発に行われている。新規のPFの中には、単に研究費獲得のためだけでなく、 <u>利害関係者を巻き込んで、将来の事業化に向けて、情報交換したり連携先を積極的に探す動きも見られる</u> 。人材や資金獲得に苦労しているPFもあるが、産学連携コーディネーターを活用するなどして、これらの確保に成功したところも出てきている。		
研究成果の商品化・事業化等の社会実装に向けた戦略を立てているか。	B	・上市した商品・事業についての調査では、R4年度時点で累計60PF、令和5年度時点で74PFが上市を達成していたが、今年度新たに <u>上市を達成したPFが7件あり、累計81件となった</u> 。一方で、商品化はできてもその先の売上げ増大、大きな市場獲得等には至らず、農林水産・食品分野に <u>インパクトのある社会実装事例が少ない</u> 。 ・社会実装に向けた伴走支援について、ニーズオリエンテッドでないPFのシーズを事業化させることは販路開拓等で非常に困難な面があり、今後の伴走支援については、PFの意向も尊重しつつ、経営・事業の専門家も交えて客観的に市場性等を精査し場合によっては方針転換を促すことも必要。 ・併せて、 <u>ニーズオリエンテッドのPFまたはコンソーシアムが形成されるような取組み(マッチングイベントやネットワーキング等)を事務局から仕掛けることも検討</u> 。		
プラットフォーム間での連携を活用しているか。	B	・ポスターセッションやアグリビジネス創出フェアでは多くのPFが出席して連携先探しに懸命に取り組んでいる様子がみられた。また、近年設立されたPFの中には、他のPFが主催するイベントに参加するところや事務局に「自分たちと親和性の高いPFはないか」と紹介を依頼してくるところもあったが、 <u>PF間連携の意欲が高いのは一部のPFに留まっている状況</u> 。		
評価委員会の所見				
※評価については、A「十分」、B「普通」、C「不十分」とする。				

研究開発プラットフォームの活動状況（活動報告書提出数:124 ）

番号	研究開発プラットフォーム名	設立日	プロデューサー	設立時 構成員数	令和5年度構 成員数	現時点 構成員数	設立からの 増加率	令和5年度か らの増加率	PF連携の有 無	研究開発コン ソーシアム数
ス-01	ストックマネジメント効率化研究開発 プラットフォーム	平成28年9月	金子 俊幸 国際航業株式会 社 事業統括本部 フェロー	2	5	5	150%	0%	無	1
ス-02	ICTでつなげる地域共生アグリ・バ リュースペース研究開発プラット フォーム	平成28年6月	渡辺 考一 一般社団法人 OSTi	21	52	52	148%	0%	無	1
ス-03	アグロバリューチェーン研究開発プ ラットフォーム		塚田 充 アクセンチュア(株)							0
ス-04	AI技術を用いた露地栽培 システム 研究開発プラットフォーム		坂井 貴行 神戸大学大学院							
ス-05	ICTを活用した畜産生産システム研究 開発プラットフォーム	平成29年10月	池口厚男、福永和 弘、後藤秀志	7		56	700%			6
ス-08	建設機械の農業利用研究開発プラッ トフォーム	平成30年1月	数 吉芳 石川県農林総合 研究センター 所 長	4	18	18	350%	0%	無	3
ス-10	次世代育種技術による品種開発推進 プラットフォーム	平成30年1月	石本 政男 (国研)農業・食品 産業技術総合研 究機構 作物研究 部門 所長	16	100	103	544%	3%	有	14
ス-12	グローバル認証される地場商品のバ リューチェーン構築研究開発プラット フォーム		大野 耕太郎 (株)オブティマ							0
ス-13	養鶏産業ICT研究開発プラットフォーム	平成30年2月	山口大学大学院 創成科学研究科 准教授 水上 嘉 樹	11	18	18	64%	0%	無	2
ス-14	スマート林業研究開発プラットフォーム	平成30年2月	大田 豊 石川県農林総合 研究センター 林 業試験場 担当課 長	6	10	10	67%	0%	有	7
ス-15	植物工場高機能化研究開発プラット フォーム	平成30年2月	松下 幸之助 国立大学法人大 分大学 研究マネ ジメント機構 知的 財産管理部門長・ 総括URA・教授	8	16	16	100%	0%	無	0
ス-16	ゲノム解析技術を活用した食産業活 性化研究開発プラットフォーム	平成30年2月	高畑 義人 岩手大学 名誉教 授	17	29	35	106%	21%	無	10
ス-17	葉物野菜の植物工場研究開発プラッ トフォーム	平成30年2月	釜道 紀浩 東京電機大学 教 授	6	9	9	50%	0%	無	2
ス-19	果樹生産システム研究開発プラット フォーム	平成30年5月	草場新之助 (国研)農業・食品 産業技術総合研 究機構 果樹茶業 研究部門 果樹生 産研究領域長	6	103	103	1617%	0%	有	11
ス-20	花き生産・流通の高度化・省力化研 究開発プラットフォーム	平成30年9月	石黒 康平 イノチオアグリ(株) 取締役	11	11	12	9%	9%	無	2
ス-21	「Society5.0の実現に向けたデータ駆 動型ソリューション」研究開発プラッ トフォーム	平成30年10月	統括プロデューサー： 国立研究開発法人 農業・ 食品産業技術総合研究機 構(農研機構) 総括執行役 兼 事業開発 部長 田中 健一 プロデューサー： 農研機構 北海道農業研究 センター 研究推進部 事業 化推進室長 根本 英子 農研機構 東北農業研究セ ンター 研究推進部 事業化 推進室長 柴 伸弥 農研機構 中日本農業研究 センター 研究推進部 事業 化推進室長 一ノ瀬 靖則 農研機構 西日本農業研究 センター 研究推進部 事業 化推進室長 村上 健二 農研機構 九州沖縄農業研 究センター 研究推進部 事 業化推進室長 高橋 将 一 地方独立行政法人北海道 立総合研究機構 農業研究 本部 上川農業試験場 場 長 吉村 康弘 地方独立行政法人青森県 産業技術センター 農林総 合研究所 所長 須藤 充 公益財団法人東京都農林 水産振興財団 東京都農林 総合研究センター 所長 濱松 潮香 香川県農業試験場 場長 岡崎 カ 大分県農林水産研究指導 センター センター長 竹中 和男	67	75	75	12%	0%	無	1
ス-22	産業技術の活用による革新的農林水 産業研究開発プラットフォーム	平成31年1月	鈴木 馨 (国研)産業技術総 合研究所 北海道 センター所長	1	26	28	2700%	8%	無	7
ス-23	花き遺伝育種・生産流通利用研究開 発プラットフォーム	平成31年1月	久松 完 農業・食品産業技 術総合研究機構 野菜花き研究部 門 野菜花き育種 基盤研究領域長	70	93	93	33%	0%	無	0
ス-25	低コスト施設園芸研究開発プラッ トフォーム	平成31年2月	安場 健一郎 (国)岡山大学 大 学院環境生命科 学研究科 准教授	31						

番号	研究開発プラットフォーム名	設立日	プロデューサー	設立時 構成員数	令和5年度構 成員数	現時点 構成員数	設立からの 増加率	令和5年度か らの増加率	PF連携の有 無	研究開発コン ソーシアム数
ス-26	スマート水田社会普及研究開発プラットフォーム		島村 博 (株)イーラボ・エク スベリエンズ 事業 開発/R&D 取締役							
ス-27	分業ユニットを活用した果菜生産アシ ストシステム開発プラットフォーム	令和2年1月	松本 静治 京都府農林水産 技術センター 農 林センター 所長	6	8	8	33%	0%	無	0
ス-28	「スマート農業新サービス創出」プラッ トフォーム	令和2年4月	安東 郁男 (公社)農林水産・ 食品産業技術振 興協会 専務理事	13						
ス-29	車両系ロボット農機高度運用プラッ トフォーム	令和2年10月	梅田 直円 (国研)農業・食品 産業技術総合研 究機構 農業機械 研究部門 部長	4	7	7	75%	0%	無	0
ス-31	自然と人に優しい自然共生型産業を 目指した農工連携研究開発プラッ トフォーム	令和3年1月	松添 直隆 熊本県立大学環 境共生学部 教授 宮野 英樹 (公財)地方経済総 合研究所 事業連 携部 部長 内藤 裕 (公財)地方経済総 合研究所 事業連 携部 主任研究員	7	7	7	0%	0%	無	2
ス-32	有害鳥獣被害対策 匠の技術伝承研 究開発プラットフォーム		田口 洋美 (学)東北芸術工科 大学 歴史遺産学 科 教授							
ス-35	水田作・畑作のDX研究開発プラッ トフォーム	令和4年2月	藪 哲男 石川県農林総合 研究センター 所 長	5	5	5	0%	0%	無	0
ス-36	中山間地域農業の6次産業化再生と 国土保全への田んぼのAI防災価値 化創造研究開発プラットフォーム		庄司 英一 (国)福井大学 学 術研究院工学系 部門 准教授							
ス-37	東北タマネギ生産促進研究開発プ ラットフォーム	令和4年8月	塚崎 光 国立研究開発法 人 農業・食品産 業技術総合研究 機構 東北農業研 究センター 畑作園芸研究領 域長	3	23	24	700%	4%	有	1
ス-38	大分県スマート農林水産業イノベ ーション創出プラットフォーム	令和4年6月	信貴素子、大成 忍 大分県農林水産 研究指導センター	5	5	5	0%	0%	無	0
ス-39	農林水産物把持エンドエフェクタ研 究開発プラットフォーム	令和4年9月	平井 慎一 (学)立命館 立命 館大学 理工学部 ロボティクス学 科 教授	5	5	5	0%	0%	無	0
ス-40	北海道水産物スマートサプライチェー ン研究開発プラットフォーム	令和5年6月	佐野 稔 (地独)北海道立総 合研究機構 栽培 水産試験場調査 研究部 部長	4	6	6	50%	0%	無	0
ス-41	農村地域における無人航空機の多 目的利用に関する研究開発プラッ トフォーム	令和5年8月	島田和彦 (一社)農林水産 航空協会 事務局 長	8						
ス-42	アクアポニックス技術による物質循環 型食料生産システム研究開発プラッ トフォーム	令和6年2月	北宅 善昭 公立大学法人大 阪 植物工場研究 センターセンタ 長	6	-	5	-	-	無	1
ス-43	地上ドローンを用いた農業DX研究開 発プラットフォーム		長谷川 量平 (公財)鯉淵学園 学園長							
ス-44	ヒトと動物、いきものQOL向上を目指 す獣医療福祉工学研究開発プラッ トフォーム	令和6年6月	江藤 真澄	20	—	20	—	—	無	0
お-02	食品加工流通ビジネス研究開発プ ラットフォーム		相良 泰行 (一社)食感性コ ミュニケーションズ 理事長							
お-03	腸内環境・腸内微生物叢を標的にし た高機能農林水産物開発プラッ トフォーム	平成28年6月	小川 健太 株式会社プリメ ディカ Flora Scan 事業部 部長	16	42	42	163%	0%	無	1
お-04	「健康増進に資する機能性成分豊富 野菜」研究開発プラットフォーム	平成28年5月	久野 美和子 (一社)フードビジ ネス推進機構 専 務理事	6	28	28	367%	0%	有	1
お-05	食品加工から考える健康研究開発プ ラットフォーム	平成28年6月	塚原 正俊 (株)バイオジェット 代表取締役	7	28	28	300%	0%	有	3

番号	研究開発プラットフォーム名	設立日	プロデューサー	設立時 構成員数	令和5年度構 成員数	現時点 構成員数	設立からの 増加率	令和5年度か らの増加率	PF連携の有 無	研究開発コン ソーシアム数
お-09	健康長寿食品研究開発プラットフォーム	平成28年9月	森 京子 愛京産業(株) 代表取締役 大池 秀明 (国研)農業・食品産業技術総合研究機構 畜産研究部門 上級研究員 大津 厳生 株式会社ユーグレナ 森 光一郎 ホクト(株) 開発研究本部 開発研究課 係長	7	83	83	1086%	0%	無	8
お-10	健康寿命を延伸させうる機能性農水畜産物・食品の研究開発プラットフォーム	平成29年3月	吉國 義明 (株)Todoフォーラム 代表取締役社長	14	25	26	86%	4%	有	6
お-11	藍に関する研究開発プラットフォーム	平成29年4月	三谷 芳広 (株)ボン・アーム 代表取締役社長	7						
お-12	メロン機能性向上研究開発プラットフォーム	平成29年12月	田代 貴志 (株)大和コンピューター NB推進本部 本部長補佐ノイ農業開発部部長	5	5	5	0%	0%	無	1
お-13	日本型畜産・酪農研究開発プラットフォーム		松本 光人 (学)日本獣医生命科学大学 客員教授							
お-15	米および米加工食品におけるイノベーション創出を目指す研究開発プラットフォーム	平成29年12月	小出 和之 (公社)日本栄養・食糧学会 事務局長	6		27	350%		無	1
お-16	新たな画期的機能性食品の創出に向けた研究開発プラットフォーム	平成30年1月	安間 智恵子 (有)碧山園 代表取締役	12	35	38	217%	9%	有	5
お-17	薬用系機能性樹木の栽培と利用のための研究開発プラットフォーム	平成30年1月	谷口 亨 (国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所森林バイオ研究センターセンター長	8	9	12	50%	33%	有	1
お-18	きのこ類の生理・生態の科学的基盤とそれらを応用した技術研究開発プラットフォーム	平成30年1月	宮崎 安将 (国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所 きのこ・森林微生物研究領域 主任研究員	12	33	33	175%	0%	無	1
お-22	「食による脳老化回避」研究開発プラットフォーム	平成30年2月	久恒 辰博 (国)東京大学 大学院新領域創成科学研究科 准教授	3	34	34	1033%	0%	無	8
お-23	香酸柑橘ユコウを中心とした研究開発プラットフォーム		堤 理恵 (国)徳島大学 大学院医歯薬学研究部 助教授							
お-24	食のエピゲノミクス研究開発プラットフォーム		柳野 陽一 柳野アソシエイツ(株) 代表取締役社長 喜納惟斗 UssioBIO(株) 代表取締役社長							
お-25	水質を改善することで抗糖化物質の含量増加を目指した機能性農作物の栽培と循環型栽培方法の研究開発プラットフォーム	平成30年7月	米井 嘉一 (学)同志社 同志社大学 大学院生命医科学研究科 教授	5	13	12	140%	-8%	無	9
お-26	ジャガイモ新技術連絡協議会プラットフォーム		村中 俊哉 (国)大阪大学 大学院工学研究科 生命先端工学 教授							
お-27	食と健康の正しい発展と国民総長寿社会を目指して		島崎 秀雄 (特非)21世紀の食と健康文化会議 理事長							
お-28	畜産ビッグデータ活用プラットフォーム	平成30年11月	松本 和也 (学)近畿大学 生物理工学部 教授	4	18	18	350%	0%	無	13
お-30	健康寿命の延伸を図る「食」を通じた新たな健康システムの確立研究開発プラットフォーム	平成31年1月	牛島 健博 (株)ITAGE 常務執行役員	3	3	3	0%	0%	無	0
お-31	高リコピンニンジン品種の育成と流通のための研究開発プラットフォーム	平成31年2月	小川 昂志 京都府 農林水産技術センター生物資源研究センター 応用研究部	3	4	4	33%	0%	無	1
お-32	機能性飼料添加剤による食肉の高付加価値化研究開発プラットフォーム	平成31年2月	竹中 昭雄 (一社)日本科学飼料協会 理事長	6						
お-33	「水産物由来成分を活用したロコモーション機能改善素材探索」研究開発プラットフォーム	平成31年2月	岸田 太郎 (国)愛媛大学 教授	11	20	20	82%	0%	無	2
お-34	健康寿命延伸に資する有用微生物を用いた食品研究開発プラットフォーム	令和2年1月	今野 宏 (株)秋田今野商店 代表取締役社長	4	4	4	0%	0%	無	0

番号	研究開発プラットフォーム名	設立日	プロデューサー	設立時 構成員数	令和5年度構 成員数	現時点 構成員数	設立からの 増加率	令和5年度か らの増加率	PF連携の有 無	研究開発コン ソーシアム数
お-36	マイクロRNAを指標とした食による予防医療の研究開発プラットフォーム	令和2年1月	阿部 純也 キュービー株式会 社 研究開発本部 イノベーション創 出プロジェクト 部 長	2	2	2	0%	0%	有	0
お-38	「熱中症予防対策商品による地域産業創出」研究開発プラットフォーム	令和2年12月	永野 武文 TOPPAN株式会 社 情報コミュニケー ション事業本部	7	9	9	29%	0%	無	1
お-39	骨の健康維持に貢献できる茶の研究開発プラットフォーム	令和4年2月	西尾 昌洋 (国)三重大学 大 学院生物資源学 研究科 准教授	7	7	7	0%	0%	無	0
お-40	パルス電流殺虫技術研究開発プラットフォーム	令和4年6月	井上 陽一 (株)ジャパン・シー フーズ 代表取締役 社長	6	5	9	50%	80%	無	0
お-41	健康農水畜産物の研究開発連合プラットフォーム	令和4年9月	久野美和子 つくばサイエンス アカデミー運営委 員 兼 電気通信大 学客員教授 兼 内 閣府地域活性化 伝道師 兼(一社) フードビジネス推 進機構専務理事 吉國義明 (株)Todoフォーラ ム 代表取締役 兼 京都先端科学 大学総合研究所 客員研究員	20	37	37	85%	0%	有	5
お-42	冷凍野菜国産化研究開発プラット フォーム	令和4年12月	佐藤 文生 (国研)農業・食品 産業技術総合研 究機構 野菜花き 研究部門露地生 産システム研究領 域研究領域長	11	11	10	-9%	-9%	無	1
お-43	健康寿命延伸に資する食品分子科学 及び構造生物学研究開発プラット フォーム	令和4年12月	永田 宏次	5		5	0%		無	1
お-44	セルフケア食開発プラットフォーム		小山 正浩 (株)ウェルナス 代 表取締役							
持-01	「林産物の機能性を活用した新産業 の創出」研究開発プラットフォーム		浅田 あや (一社)ASUHA							
持-02	水産・海洋系産業イノベーション創造 プラットフォーム	平成28年5月	妻 小波 国立大学法人東 京海洋大学 海の 研究戦略マネジメ ント機構副機構長	6	38	38	533%	0%	無	7
持-03	農林水産業のためのナノテクノロジー を用いた新素材開発・新用途開発プ ラットフォーム	平成28年5月	古瀬 幸広 インフォリーフ(株) 代表取締役 藤澤 義和 (同)サワディカップ ジャパン 代表社 員	3	22	22	633%	0%	無	1
持-04	スマート・メガスケール植物工場研究 開発プラットフォーム	平成28年5月	久枝 和昇 大和フード&アグ リ(株)代表取締役 社長	4	13	13	225%	0%	無	6
持-05	中層・大規模木造建築推進のための 研究開発プラットフォーム		平野 陽子 (株)ドット・コーポ レーション 代表取 締役							
持-06	農林水産・食品産業ファインバブル研 究開発プラットフォーム	平成28年6月	佐藤 龍太郎 (公社)農林水産・ 食品産業技術振 興協会 産学連携 事業本部長	2						
持-07	水産増養殖産業イノベーション創出プ ラットフォーム	平成28年7月	五條堀孝(早稲田 大学) 岡本信明(トキワ 松学園) 中山一郎 三木奈都子(水産 研究・教育機構)	7	252	260	3614%	3%	無	15
持-08	地域共創価値創出研究開発プラット フォーム	平成28年8月	矢野 竹男 (国)三重大学 大 学院地域イノー ベーション学研究科 教 授	10						
持-09	信州大学 食・農産業の先端学際研 究開発プラットフォーム		國井 久美子 (国)信州大学 学 術研究・産学連携 推進機構 准教授							
持-10	低価格農業を実現する革新的生産プ ロセス研究開発プラットフォーム	平成28年10月	山川一義 東京大学大学院 理学系研究科 GSC社会連携講 座 特任研究員	4	16	16	300%	0%	有	4

番号	研究開発プラットフォーム名	設立日	プロデューサー	設立時 構成員数	令和5年度構 成員数	現時点 構成員数	設立からの 増加率	令和5年度か らの増加率	PF連携の有 無	研究開発コン ソーシアム数
持-11	さんりく養殖産業化プラットフォーム	平成28年12月	株式会社ヒカリフーズ代表取締役社長 佐藤 正一(代表プロデューサー) 岩手大学三陸水産研究センター長・教授 平井 俊朗 株式会社東北銀行金石支店長 水野 吾一 北海道大学名誉教授 山内 睦平 岩手大学客員教授(北海道大学名誉教授)足立 伸次 岩手大学客員教授 高橋 禎	9	32	34	278%	6%	無	4
持-12	産業用ヘンプの農業生産・製品の高度化研究開発プラットフォーム		赤星 栄志 (学)日本大学 生物資源科学部							
持-14	木質バイオマス燃焼灰利用研究プラットフォーム	平成30年5月	平井 敬三 (国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所 研究ディレクター 山田 毅 (国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所 立地環境研究領域 チーム長	2	5	5	150%	0%	有	0
持-15	農業・観光・DXで地域活性化研究開発プラットフォーム	平成28年9月	石垣 恭一 (株)竹橋農業研究所 代表取締役社長	10	17	17	70%	0%	有	2
持-16	土壌改良による農産品の品質向上と収量増加に関する研究開発プラットフォーム	平成29年7月	関 浩一 (株)リーフ つくば 牡丹園 園長	5	19	19	280%	0%	無	2
持-17	キチンナノファイバー研究開発プラットフォーム	平成30年11月	伊福 伸介 (国)鳥取大学 工学研究科 教授	4	6	6	50%	0%	無	3
持-18	農耕地からのN2Oガス発生を削減し作物生産性を向上する微生物資材の研究開発プラットフォーム	平成29年11月	高谷 範子 (株)ロム 代表取締役	5	15	15	200%	0%	無	1
持-20	樹木類への生物被害に関する連携研究開発プラットフォーム		佐藤 大樹 (国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所 森林昆虫研究領域長							
持-21	植物の活性化による革新的農産物生産技術研究開発プラットフォーム	平成30年2月	鳴坂 義弘 岡山県農林水産総合センター 生物科学研究所 専門研究員・グループリーダー	7	33	35	400%	6%	無	9
持-22	次世代食品開発による市場創成研究開発プラットフォーム	平成30年2月	大日向耕作	3	5	4	33%	-20%	無	3
持-23	農業分野におけるリモートセンシング技術研究開発プラットフォーム	平成30年2月	奥村 俊夫 (一財)リモート・センシング技術センター 主幹研究員	7						
持-24	土壌伝染性ダイズ病害の生物的防除研究開発プラットフォーム	平成30年2月	小林 新 朝日アグリア(株) 開発部 部長	11	11	11	0%	0%	無	1
持-25	農業・農村基盤の強靱化および持続的管理のための研究開発プラットフォーム	平成30年2月	小出水 規行 農研機構 農村工学研究部門 研究推進部 部長	5	27	35	600%	30%	無	0
持-26	衝撃波技術の農林水産資源への応用に関する研究開発プラットフォーム		伊東 繁 (一社) 衝撃波応用技術研究所 理事長							
持-27	シロシストセンチュウの高性能新規ふ化誘導化合物の探索と誘引性化合物による駆除技術の研究開発プラットフォーム	平成30年2月	広津 崇亮 (株)HIROTSU バイオサイエンス 代表取締役	5						
持-28	環境共生駆動型・食科学創成プラットフォーム		守屋 繁春 (国研)理化学研究所 環境資源科学研究センター 専任研究員							
持-29	次世代型家畜生産技術の研究開発プラットフォーム	平成30年2月	寺田 文典 明治飼料株式会社・研究開発コンサルタント	14	38	38	171%	0%	無	10
持-30	優良な林業用種苗の生産・普及に関するプラットフォーム	平成30年2月	倉本 哲嗣 (国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所林木育種センター 遺伝資源部 保存評価課長	8	15	15	88%	0%	有	1
持-31	ロバスト農林水産工学研究開発プラットフォーム	平成30年6月	石井 一英 (国)北海道大学 大学院工学研究院環境創生工学部門 教授	10	64	51	410%	-20%	無	14
持-33	ミツバチの免疫活性化システム研究開発プラットフォーム	平成30年8月	鎌倉 昌樹 公立大学法人富山県立大学 工学部生物工学科 講師	16	16	16	0%	0%	無	0
持-34	天然物を活用した作物病害防除の研究開発プラットフォーム	平成30年11月	西内 巧 (国)金沢大学 遺伝子研究施設 准教授	6						

番号	研究開発プラットフォーム名	設立日	プロデューサー	設立時 構成員数	令和5年度構 成員数	現時点 構成員数	設立からの 増加率	令和5年度か らの増加率	PF連携の有 無	研究開発コン ソーシアム数
持-35	地域創生に資する森林資源・木材の 需要拡大に向けた研究開発プラット フォーム(略称:地創林木プラット フォーム)	平成30年11月	鮫島 正浩 (国)東京大学 名 誉教授	22	85	86	291%	1%	有	5
持-36	米及び油糧米が創る新産業に係る研 究開発プラットフォーム	平成30年11月	山口與左衛門 三和油脂株式会 社 代表取締役 (一般社団法人ア グロエンジニアリ ング協議会 代表 理事) 鈴木康夫 一般社団法人ア グロエンジニアリ ング協議会 代表 理事会長 (前 東 北福祉大学教授)	30	34	34	13%	0%	無	8
持-37	持続的な林業生産システム研究開発 プラットフォーム	平成30年11月	酒井 秀夫 (一社)日本木質バ イオマスエネル ギー協会 会長	17	61	61	259%	0%	有	2
持-38	SDGsに貢献する新たな植物保護技 術研究開発プラットフォーム	平成30年12月	大藤泰雄 農業・食品産業技 術総合研究機構 (農研機構) 植物 防疫研究部門 所 長 植原健人 農研機構 基盤防 除技術研究領域 領域長 長坂幸吉 農研機構 作物病 害虫防除領域 領 域長 後藤千枝 農研機構 本部事 業開発部 地域 連携課	26	117	121	365%	3%	有	10
持-39	「東北農業のイノベーション技術創 造」研究開発プラットフォーム	平成30年12月	川口 健太郎 統括プロデュー サー:農研機構東 北研・所長 プロデューサー: 若生 忠幸 農研 機構東北研・研究 推進部部部長	34	62	78	129%	26%	有	8
持-40	社会実装を目指した獣害対策研究プ ラットフォーム	平成31年1月	山端 直人 公立大学法人兵 庫県立大学 自 然・環境科学研究 所 教授	17						
持-41	食糧生産～消費における炭素・窒素 動態制御技術開発プラットフォーム	平成31年1月	原新太郎 国立研究開発法 人 農業・食品産 業技術総合研究 機構 農業環境研 究部門 気候変動緩和策 研究領域 主任 研究員	4	18	18	350%	0%	無	0
持-42	生分解性プラスチック及び分解酵素 研究開発プラットフォーム	平成31年1月	坂井 久純 (株)ユニック 参与	7	13	13	86%	0%	無	2
持-43	地下水資源利用・管理技術研究開発 プラットフォーム	平成31年1月	白旗 克志 (国研)農業・食品 産業技術総合研 究機構 農村工学 研究部門水利工 学研究領域 グ ループ長補佐	4	6	6	50%	0%	無	2
持-45	南九州畜産研究開発プラットフォーム	平成31年1月	川島 知之 (国)宮崎大学 農 学部 教授	7	11	11	57%	0%	無	3
持-46	林内人力作業支援機械研究開発プ ラットフォーム	平成31年2月	仁多見 俊夫 (国)東京大学 大 学院農学生命科 学研究科 准教授	5						
持-47	定置漁業研究開発プラットフォーム	平成31年2月	水上 洋一 (国)東京大学 生 産技術研究所 シ ニア協力員	3	3	3	0%	0%	無	0
持-48	新規素材の発掘・利用に向けた研究 プラットフォーム	平成31年3月	大庭 潔 (国)帯広畜産大学 産学連携センター 特任教授	13	28	28	115%	0%	無	8
持-49	メディカルライス研究開発プラット フォーム	令和1年12月	渡邊 昌 (一社)メディカルラ イス協会 理事長	5	25	25	400%	0%	無	4
持-50	気孔開度制御技術研究開発プラット フォーム	令和2年1月	木下 俊則 (国)東海国立大学 機構 名古屋大学 トランスフォーマ ティブ生命分子研 究所 教授	8						

番号	研究開発プラットフォーム名	設立日	プロデューサー	設立時 構成員数	令和5年度構 成員数	現時点 構成員数	設立からの 増加率	令和5年度か らの増加率	PF連携の有 無	研究開発コン ソーシアム数
持-51	植物病害カンファレンス研究開発プラットフォーム	令和2年1月	越智 直 (国研)農業・食品産業技術総合研究機構 上級研究員 越智 直 清水 将文 (国)東海国立大学機構 岐阜大学 応用生物科学部 准教授 菅 康弘 長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫研究室長 藤永 真史 長野県野菜花き試験場 主任研究員 守川 俊幸 富山県農林水産総合技術センター 農業研究所 副所長 吉田 重信 (国研)農業・食品産業技術総合研究機構 植物防疫研究部門 病害虫防除支援技術グループ長	16	28	32	100%	14%	無	2
持-52	バクテリオファージ研究開発プラットフォーム	令和2年1月	北野 光昭 (株)カネカ バイオフィアルマ研究所長	3	3	3	0%	0%	無	1
持-54	自給飼料の生産性向上研究開発プラットフォーム	令和2年1月	石崎 宏 農研機構畜産研究部門 畜産飼料作研究領域長	12	23	23	92%	0%	有	2
持-55	SDGsグリーンハウス研究開発プラットフォーム		山本 永 (株)イースリー 代表取締役							
持-56	昆虫ビジネス研究開発プラットフォーム	令和2年8月	松本 由樹 / 統括 (香川大学農学部准教授・(株)富士クリーンアドバイザー) 眞鍋 昇 (大阪国際大学学長補佐兼人間科学部教授) 藤谷 泰裕 / PD 補佐 (姫路港運株式会社顧問・(株)富士クリーンアドバイザー)	7	138	148	2014%	7%	無	8
持-57	高付加価値国産鶏肉研究開発プラットフォーム	令和2年12月	本田 和久 (国)神戸大学 教授	9	8	8	-11%	0%	無	0
持-58	イオン水・ゲノム研究開発プラットフォーム	令和2年12月	富永 伸介 ハイパーアグリ (株) 代表取締役	3						
持-59	ストレスフリー畜産物の研究開発プラットフォーム	令和3年1月	安部 淳一 (国)鹿児島大学 名誉教授	8	8	8	0%	0%	無	1
持-60	サボテン等多肉植物の潜在能力発掘と活用推進プラットフォーム	令和2年1月	前島 正義 (学)中部大学 応用生物学部 教授	5	14	16	220%	14%	無	1
持-61	循環型農村経済圏(スマートSDGs)の構築に向けた研究開発プラットフォーム	令和3年1月	山形大学農学部・教授 浦川 修司	20	20	20	0%	0%	無	0
持-62	次世代鶏糞利活用・高品質有機肥料普及プラットフォーム	令和3年1月	安田 勝彦 (株)ハイテム 代表取締役社長 奥野 豊 (株)クレスト 常務取締役	3	3	3	0%	0%	無	0
持-63	作物へ耐暑性や増収減肥を誘導する新規バイオスティミュラント素材の研究開発プラットフォーム		横山 正 (国)福島大学 食農学類 特任教授							
持-64	畜産分野における農福連携促進のための研究開発プラットフォーム	令和3年1月	石田 元彦 石川県公立大学 法人 石川県立大学 客員教授(産学官連携学術交流センター・コーディネータ)	3						
持-66	コムギの頑健性を高める根圏環境順応チューニング技術研究開発プラットフォーム	令和3年1月	坂 智広 公立大学法人 横浜市立大学 木原 生物学研究所 教授	4	4	4	0%	0%	無	4
持-67	国産漆研究開発プラットフォーム		中澤 慶久 (国)徳島大学 生物資源産業学部 教授							
持-68	豚ロース・バラ自動脱骨技術研究開発プラットフォーム	令和3年2月	木下 良智 食肉生産技術研究組合 専務理事	4	4	4	0%	0%	無	5
持-69	スマート養殖研究開発プラットフォーム	令和3年2月	梅川 忠典 リージョナルフィッシュ(株) 代表取締役社長	4	4	4	0%	0%	無	0
持-70	統合型農作物病虫害防除システム研究開発プラットフォーム	令和3年7月	小林 弘高 東日本電信電話(株)ビジネス開発本部営業戦略推進部	3	13	13	333%	0%	無	0

番号	研究開発プラットフォーム名	設立日	プロデューサー	設立時 構成員数	令和5年度構 成員数	現時点 構成員数	設立からの 増加率	令和5年度か らの増加率	PF連携の有 無	研究開発コン ソーシアム数
持-72	東海バイオコミュニティ研究開発プラットフォーム	令和3年8月	高橋 史彦 (国)東海国立大学 機構バイオコミュ ニティ振興機構(仮 称)設立準備室 川北 一人 (国)東海国立大学 機構 名古屋大学 審議役／東海バ イオコミュニティ振 興機構(仮称)設立 準備室長	27						
持-76	みどりの畜産システム研究開発プラットフォーム		大浦裕二 東京農業大学 総 合研究所 副所長							
持-77	新たな食品加工技術の研究開発プラットフォーム	令和5年2月	石川 豊	4	4	6	50%	50%	無	0
持-78	総合的うどんこ病防除法の研究開発プラットフォーム	令和5年12月	八丈野 孝 (国)愛媛大学 農 学研究科 教授	6	-	6	0%		無	0
持-79	錦鯉学の構築に向けた異分野融合研究開発プラットフォーム	令和6年1月	長谷川 英夫 (国)新潟大学 農 学部 教授	10	-	10	0%		無	4
持-80	デジタル育種研究開発プラットフォーム	令和6年2月	奥原 啓輔 広島大学ゲノム編 集イノベーションセ ンター 客員教授	4	-	4	0%		無	0
持-81	植物内生酵母を用いた革新的な農業システムの研究開発プラットフォーム		金 英一 (株)ファーマフーズ 開発部 部長							
持-82	京都研究会研究開発プラットフォーム		藤井 康資 (株)FUJII & SONS 代表取締役							
持-83	畜産衛生害虫防除システム研究開発プラットフォーム		藤田龍介 (国)九州大学 准 教授							
持-84	遊休地・未利用施設を活用した次世代水産(ナマコ)増養殖システム研究開発プラットフォーム	令和6年7月	鈴木 康夫 (一社)アグロエン 지니어リング協議 会 代表理事会長 西川 正純 公立大学法人 宮 城大学 食産業学 群 教授(副学 長)、同協議会フェ ロー	7	-	7	0%		無	0
持-85	炭素を長期間貯蔵できる新木質材料の研究開発プラットフォーム		高麗 秀昭 (国)岡山大学 教 授							
外-01	JFIT-Market (Japanese Food International Trade-Market) 研究開発プラットフォーム		中島 正弘 (独)都市再生機構 理事長							
外-02	農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・沖縄	平成28年5月	福田 晋 国立大学法人 九 州大学 名誉教授	16	59	86	438%	46%	無	5
外-03	青果物の鮮度保持輸送技術研究開発プラットフォーム	平成28年5月	永田 玲士 (株)日本農業	4	3	2	-50%	-33%	無	0
外-04	科学的根拠に基づく高付加価値日本食・食産業研究開発プラットフォーム	平成28年6月	水田 貴信 (株)東北テクノ アーチ 代表取締 役社長	4	36	36	800%	0%	無	5
外-05	日本産高級果実の超高品質世界展開技術開発プラットフォーム		小出 和之 (公社)日本栄養・ 食料学会 事務局 長 (代理)柏崎 勝 (国)宇都宮大学 農学部							
外-06	Society5.0におけるファームコンプレックス研究開発プラットフォーム	平成28年6月	吉田 重信 三菱ケミカル(株) 研究開発戦略部	6						
外-07	フグの次世代養殖・加工技術に関する研究開発と国内外展開の為にブランド化戦略の構築		城下 隆 (株)EECL 代表取 締役							
外-08	木質外被研究開発プラットフォーム	平成28年9月	青木 和壽 (有)和建築設計事 務所代表取締役	10	27	28	180%	4%	無	10
外-09	水産物における細菌性・ウイルス性食中毒の防除技術開発プラットフォーム		尾身 武彦 (株)竹中工務店 環境エンジニアリ ング本部 副部長 中村 智治 うみの(株) 代表取 締役社長							
外-10	「植物医科学の高度化による農業生産性向上」研究開発プラットフォーム	平成29年12月	永井 恒夫 (学)法政大学研究 開発センター 産 学連携コーディネ ーター	9	16	16	78%	0%	無	0
外-11	「未来茶業」研究開発プラットフォーム	平成30年10月	佐藤安志 (国研)農業・食品 産業技術総合研 究機構 果樹茶業 研究部門 茶業研 究領域長	11	29	29	164%	0%	無	1
外-13	黒毛和種等国産食肉の適正管理技術の研究開発プラットフォーム	令和2年8月	松村 優香 国立大学法人神 戸大学 産官学連 携本部 ライセンシ ング&ビジネスディ ベロップメントオフィサー	3	3	3	0%	0%	無	4

番号	研究開発プラットフォーム名	設立日	プロデューサー	設立時 構成員数	令和5年度構 成員数	現時点 構成員数	設立からの 増加率	令和5年度か らの増加率	PF連携の有 無	研究開発コン ソーシアム数
外-14	国産農産品のグローバル化を促進する機能性および安全性確保のための計測技術に関する国際標準化戦略検討プラットフォーム	令和2年2月	中江 裕樹 (特非)バイオ計測 技術コンソーシア ム	4	7	8	100%	14%	無	1
外-15	国産高級果実加工品研究開発プラットフォーム	令和6年10月	鈴木利雄 (学)帝塚山学院大 学 食環境学部 教 授 尾崎嘉彦 (学)近畿大学 生 物理工学部 教授 鈴木徹 (一社)食品冷凍技 術推進機構 理事 長 吉田亮 (株)Farmer's Manager 代表取 締役社長	5	-	5	0%		無	0
バ-01	次世代育種技術研究開発プラット フォーム	平成28年6月	藤本 潔 (公社)農林水産・ 食品産業技術振 興協会 理事長	4	70	71	1675%	1%	無	15
バ-02	新品種育種法・新栽培法開発加速プ ラットフォーム	平成28年6月	武田 穰(名古屋 大学名誉教授)	27	69	69	156%	0%	無	6
バ-03	革新的病原体制御技術研究開発プ ラットフォーム	平成28年11月	藤枝 繁 (国)鹿児島大学 南九州・南西諸島 域イノベーション センター 特任教授	9	35	34	278%	-3%	無	7
バ-05	次世代濃縮バイオ液肥研究開発プ ラットフォーム	平成30年2月	矢部 光保 (国)九州大学 大 学院農学研究院 教授	10		20	100%		無	1
バ-06	環境調和型作物保護技術研究開発 プラットフォーム	平成30年2月	蔡 晃植 長浜バイオ大学 学長	8	18	18	125%	0%	無	2
バ-07	ペプチドホルモン研究開発プラット フォーム	平成30年2月	酒井 優 三洋化成工業 (株) アグリ・ ニュートリション推 進部 研究開発グ ループ グループ 長	2	6	6	200%	0%	無	1
バ-08	細胞外小胞を用いた農水包括的生物 好循環サイクルの機能性強化のため の革新的研究開発プラットフォーム	平成30年6月	田原 栄俊 広島大学 副学長、 教授 高山和江 広島大学 シニア URA 久野美和子 一般社団法人フードビ ジネス推進機構 専 務理事 辻典子 日本大学客員教授	3	13	13	333%	0%	無	3
バ-09	ゲノム編集動物研究開発プラット フォーム	平成30年7月	竹澤 慎一郎 (株)セツロテック 代表取締役	2	3	3	50%	0%	無	3
バ-10	植物成長制御物質研究開発プラット フォーム	平成30年12月	嶋田 幸久 公立大学法人 横 浜市立大学 木原 生物学研究所 教 授	3	3	3	0%	0%	無	0
バ-11	バイオスティミュラント研究開発プラ ットフォーム	平成31年2月	俵谷 圭太郎	11	11	11	0%	0%	無	0
バ-14	構造ベース創農薬の技術研究開発プ ラットフォーム	令和2年2月	西ヶ谷 有輝 (株)アグロデザイ ン・スタジオ 代表 取締役社長	2	2	2	0%	0%	無	0
バ-15	水産物における先進的育種プラット フォーム	令和5年2月	梅川忠典 リージョナルフィッ シュ(株) 代表取締 役社長	3	3	3	0%	0%	無	0
バ-16	有機農業拡大のための土作り技術研 究開発プラットフォーム		俵谷川 慎 (学)関西文理総合 学園 長浜バイオ 大学 バイオサイ エンス学部 教授 ／地域連携・産官 学連携推進室 室 長							
バ-17	バイオスティミュラント活用による脱炭 素地域づくり協議会	令和5年8月	大堂 由紀子 (株)AGRI SMILE	1	1	1	0%	0%	無	0
バ-18	発酵・醸造及びその周辺技術に関す る研究開発プラットフォーム		高橋孝太郎 (株)ダイヤモンドブ ルーイング 研究 室長							
バ-19	シルク新素材研究開発プラットフォー ム	令和6年1月	中澤 靖元 (国)東京農工大学 大学院工学研究 院 生命機能科学 部門 教授	7	-	7	0%		無	0
バ-20	高タンパク質食品原料研究開発プ ラットフォーム		大橋 由明 フェルメクテス(株) 代表取締役							
バ-21	家畜・家禽の健全育成を目指した免 疫・微生物研究開発プラットフォーム	令和6年9月	西 英機 共立製薬(株)連携 (委託)エグゼク ティブ・アドバイ ザー	3	-	3	0%		有	1

表2. 他分野・他業種の参画について

産業領域	他分野・他業種の参画率別研究開発プラットフォーム数の分布					領域別 他分野の 参画率
	0～25%以内 (他分野・他業 種の参画率)	～50%以内 (他分野・他業 種の参画率)	～75%以内 (他分野・他業 種の参画率)	～100%以内 (他分野・他業 種の参画率)		
ス: スマート農林水 産業及びスマート フードチェーン	8	2	5	11	26	48%
お: おいしくて健康に よい食づくり(産業基 盤の強化に向けた 連携促進)	5	3	9	7	24	54%
持: 持続可能な農林 水産業・食品産業 (地球規模・地域の 課題解決)	13	17	7	14	51	45%
外: 農林水産物・食品 の輸出促進、農林水 産・食品技術の海外 展開・国際共創	3	1	1	4	9	63%
バ: バイオテクノロ ジーを活用した新事 業創出	4	3	5	2	14	52%
合計	33	26	27	38	124	49%
	27%	21%	22%	31%		
(参考)R5年	37	33	34	38	142	48%
	26%	23%	24%	27%		
(参考)R4年	29	41	31	40	141	47%
	20%	29%	22%	28%		
(参考)R3年	37	41	43	42	163	46%
	23%	25%	26%	26%		
(参考)R2年	37	55	37	17	146	—
	25%	38%	25%	12%		